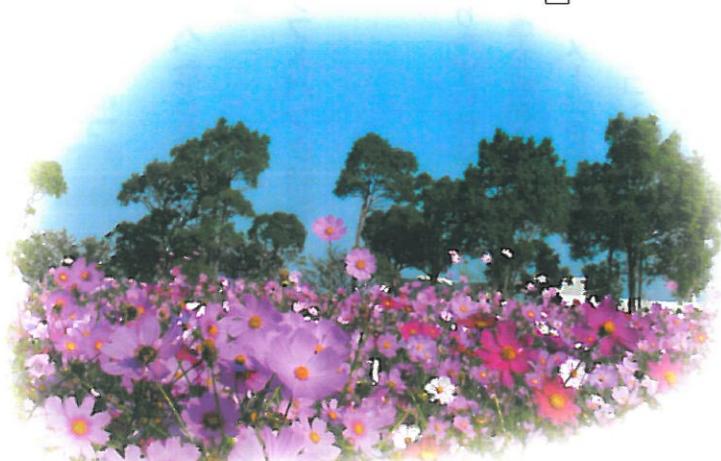


No.123

# 腸内快覧板

2010年  
10 Oct.発行所/おなかいきいき健康クラブ  
福岡市東区松香台1丁目2番1号  
TEL.092-674-4545  
FAX.092-661-1051

元はお腹から「おなかいき健康法」を勧めてまいりましたが、この度、元気満まん堂と考根論を提案している田中保郎先生、その一部をご紹介いたします。

元はお腹から「おなかいき健康法」を勧めてまいりましたが、この度、元気満まん堂と考根論を提案している田中保郎先生、

（西諫早病院東洋医学研究センター長）のお話を聞く機会に恵まれ、

## 「おなかいき健康法」と考根論

田中保郎先生の提案される考根論とは、もしも木の葉や花が枯れたりすると木のどこを診る

いかを調べるはず。人間も植物

と同じように患者さんの病気を

診るときには、「花に向かう医療」もあれば、「根に向かう医療」もある。「花に向かう医療」とは、表に現れた症状をみておこなう

西洋医学、「根に向かう医療」は、庭師のように、表に現れない人間の根っこ（腸）に向かって治療を行なう東洋医学、この根に向かう医療を考根論と提案。

最初に先生は、江戸中期の漢方医の吉益東洞（よしよとうどう）の言葉「万病は腹に根ざす、これをもつて病を診するには必ず腹を窺う」を紹介。要するに、まず腸を診ることが大切のこと。

最初に先生は、江戸中期の漢方

医の吉益東洞（よしよとうどう）の言葉「万病は腹に根ざす、これをもつて病を診するには必ず腹を窺う」を紹介。要するに、まず腸を診ることが大切のこと。

No.123

腸内快覧板

No.12

